

部局名	子ども部	所属名	子育て支援課	所属長名	澤村 康廣	電 話	483-1151 内線2270
-----	------	-----	--------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3160		事務事業名称	すてっぷ21事業					短縮コード	経常	3160	臨時	4032
予算区分	会計	01	一般会計	款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		八千子ども支援センターすてっぷ21の設置及び管理に関する条例 八千代市家庭相談室設置運営要綱							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
・少子化、都市化、核家族化などに伴い子育て中の親の孤立化、不安や悩みが増大し、子育て中の親のつどえる場として市民からの要望により平成6年度にすてっぷ21を設置し、平成18年4月に子ども支援センターすてっぷ21に名称変更した。子育て相談室は、機構改革により、平成18年4月から子ども相談センターとして、元気子ども課の課内室として子育て相談室の機能を強化した。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測 ・利用者数が年々増大。子育てを支える行政と市民のネットワークが広がってきている。育児不安や子どもの虐待が大きな社会問題にもなり、子育て相談室の相談件数が増大。平成14年「八千代市子ども人権ネットワーク」、平成15年「おにいさんおねえさん子ども電話そうだん室」を設置。平成17年には、中高校生のための居場所づくり事業を実施。				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして						
					大項目（節）	02	社会福祉						
					中 項 目	01	児童福祉						
					小項目（施策）	03	地域子育て支援体制の充実						
					細 項 目	02	子育てに関する相談、情報提供体制の整備						
実施計画の計画事業													
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	1、にこにこハウス…3歳に達した日以後の最初の3月31日までの間にある乳幼児及びその保護者 2、子育て相談室…18歳未満の児童及びその保護者							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： ①子どもが自発的に遊べる場の提供②子育ての学びの場の提供③子育てについての相談に関する事業④子育てについての情報の提供⑤子育て支援のネットワーク化に向けての事業⑥人権ネットワーク会議⑦中高生の居場所づくり							
	※平成19年度に計画していること： 18年度と同様のほか、地域子育て支援センターとして妊娠から出産・子育てに至るまで一貫した子育て支援を実施する。							
意図 （何を狙っているのか）	①安心して遊べる場の提供②孤独な子育てにならないように、仲間づくりを援助する③身近な情報や学びの機会を提供して、安心して子育てができるようにする④地域で子育てを見守れる子育て支援のネットワーク化を促進する							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	1. 保護者の子育て力を高める。 2. 地域で子育てを支えあう地域力（環境）を高める。 3. それぞれの問題に相談者自らが解決し、家庭・集団・地域・社会の中で、生き生きと自分らしく生活ができる。							
区 分				単位	17年度	18年度		19年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	0～3歳までの子どもの保護者数	数	7,623	8,100	7,464	7,800	
	指標2	問題を抱えている18歳未満の子どもの数と妊婦数	件	403				
	指標3							
活動指標	指標1	開館日数	日	245	291	246	247	
	指標2	にこにこハウス施設利用者実人数	人	3,551	4,000	3,517	4,000	
	指標3	子育て相談室で相談を実施し、解決・終結した数	件	268				
成果指標	指標1	子育て期にある親子の施設の利用度	%	46.6	49.9	47.1	51.3	
	指標2	「子育て応援フェスタ」の実行委員会に参加している人数	人	70	45	40	40	
	指標3	子育て相談室で相談を実施し、解決・終結した数の割合	%	66.5				
上位成果指標	指標1	保育園待機児童数	人			99		
	指標2	子どもが心身ともに健やかに発育発達していると感じている	%			55.3		
	指標3	ファミリー・サポート・センター登録者数	人			1,039		

コード	3160	事務事業名称	すてっぷ2 1 事業				所属名	子育て支援課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			社会問題になっている少子化に対応していくために、すてっぷ2 1 においての事業をさらに見直し、安心して子育てができる地域づくりを目指し、子育て支援の拡充を図る。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☒ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			利用者の増	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
・すてっぷ21（遊びと交流のひろば）をバギーでいける範囲に設置。・すてっぷ21の利用対象年齢後、18歳までの子どもの安心できる居場所の設置。・子育て支援の地域ネットワークの促進・社会状況の変化（虐待の増加）や児童福祉法、虐待防止法の改正に伴い相談機能の拡充。									

所属長コメント	今までのすてっぷ2 1 においての事業を今後も、安心して子育てができる地域づくりを目指し、対象年齢を広がるなど子育て支援の拡充を図ることにより、より一層の利用者が増え、今後益々利用度の高い事業になると考える。								
評価調整委員会意見	☒ 改革改善して継続			経費の増加について十分検証を行い、推進すべき。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☒ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									